

# 「11月5日は津波防災の日」

## 津波防災の日 学校や地域で行われる訓練に参加しましょう!



第29回 防災ポスター  
コンクール佳作  
小学5・6年生の部  
宮城県美里町立不動堂小学校  
小学6年 櫻井 凜さん  
※内閣府津波防災の日チラシより

安政元年(1854年)11月5日、安政南海地震と呼ばれる大地震が発生しました。この地震により発生した津波は、和歌山県をおそいました。この時に、浜口梧陵という人物は、かり取った稲やわらを積んだ「稲むら」に火をつけることで、暗やみの中で逃げおけている人たちを安全な高台へ避難させて、津波から多くの村人の命を救いました。

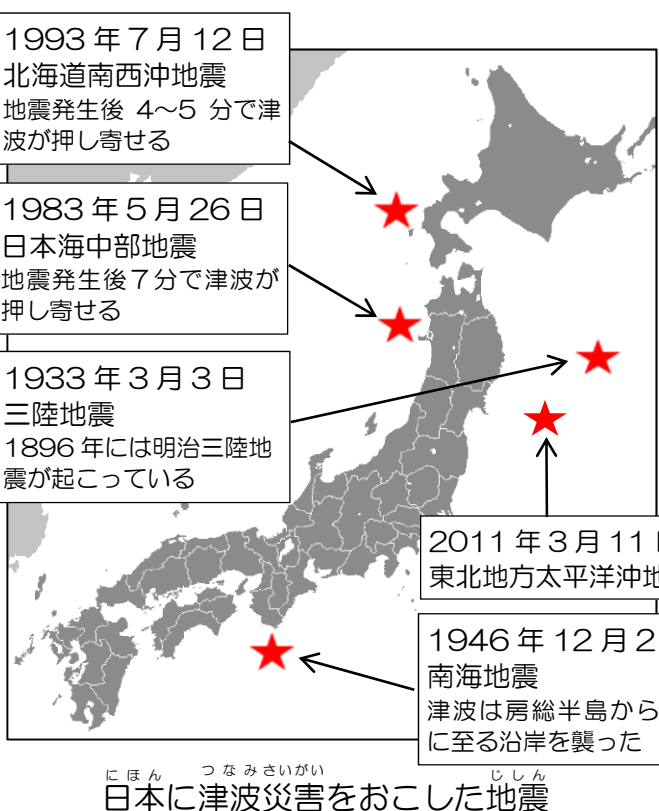
この実話をもとに作られた「稲むらの火」という物語は、津波のこわさを、すぐに高い所へ逃げることの大切さを教えてくれます。

11月5日は、この「稲むらの火」の話にちなんで、「津波防災の日」と定められました。日本全国で地震や津波から身を守るための訓練が行われます。みなさんも学校や地域で行われる訓練に参加しましょう。



2014年	10月6日	月曜日
平成26年		
福岡管区气象台	〒810-0052	
防災調査課	福岡市中央区大濠 1-2-36	
電話	092-725-3614 (記事) 092-725-3600 (天気相談所)	
メール	fk-kanku@met.kishou.go.jp (ご意見・ご要望はこちらまで)	

## 日本では津波による災害がくり返しおこっている 日本の津波被害



日本では、津波による災害がくり返しおこっています。最近では、平成23年(2011年)3月11日東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)によって発生した津波があります。他にも左の図のように、津波による被害がおこっています。また、津波は遠くはなれたところまで伝わります。1960年5月22日に地球の裏側のチリで起こった地震による津波では、日本の太平洋沿岸各地にも大きな被害をもたらしました。

日本に津波災害をおこした地震

## 「お天気 Q&A」

Q: 津波がおそってくる前に、必ず潮が引くと聞きましたが、本当ですか?

A: いいえ。必ずしも潮が引くわけではなく、地震によっては、いきなり大きな波が押しよせることもあります。

平成15年(2003年)十勝沖地震による津波や、2004年スマトラ沖地震の際にスリランカやインドの沿岸では、直前に潮が引かずに大きな津波が押しよせました。

- 重要**
- ・大津波警報・津波警報が発表されたら、すぐに安全な場所(高いところ)に避難しましょう。
  - ・津波注意報が発表されたら、すぐに海のそばから離れましょう。
  - ・海の近くで地震の揺れを感じたら、すぐに避難しましょう。

津波から命を守るためには、  
海の近くでゆれたら、  
**すぐに避難!**



**「津波石」ってどんな石?**

津波のエネルギーは非常に大きいため、海中の大きな石を陸の上まで運ぶことがあります。このように、津波によって陸に打ち上げられた大きな石を「津波石」と呼びます。

沖縄県石垣島には、「津波石」が海岸や陸上に分布しています。これらは「1771年 明和八重山地震津波」や約2000年前におこった津波で打ち上げられたと考えられています。

沖縄県石垣島の津波石  
手前のバイクと比べてもずっと大きいです。

気象情報へのアクセス

パソコン・スマホ から

気象庁 検索

携帯から

防災情報 検索